

(インターネットモニターのみ抜粋)

---

**日立市地域福祉推進計画2019の  
中間評価に伴うアンケート報告書**

---

## I 調査の概要

### 1 調査目的

日立市地域福祉計画の中間評価として、計画に掲げた各施策の取組状況に関する認知度や満足度を把握し、計画推進の更なる適切化を図る。

### 2 回答者数

区分	調査の依頼方法	配布人数	回答者数 (回答率)
インターネットモニター	各個人に調査への回答を依頼	222人	45人 (20.3%)

### 3 調査期間

令和4年1月1日から令和4年1月31日まで

## II 調査の結果

### 1 回答者の属性

#### ① 性別

男性	女性
36人	9人

#### ② 年齢

20代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
0人	0人	1人	7人	11人	10人	16人

#### ③ 職業

会社員 ・ 公務員	自営業	家事専業	パート ・ アルバイト	学生	無職	その他
12人	5人	4人	5人	0人	18人	1人

#### ④ 世帯の構成

ひとり暮らし	夫婦のみ	夫婦と子	ひとり親と子	3世代	4世代	その他
3人	23人	15人	3人	1人	0人	0人

⑤ 住まいの種類

持ち家（一戸建て）	持ち家（マンション）	民間賃貸住宅 （一戸建て）	民間賃貸住宅 （集合住宅）
39人	0人	1人	5人

公営住宅	社宅・寮	その他
0人	0人	0人

⑥ お住まいのコミュニティ

十王地区コミュニティ推進会	3人	油縄子学区コミュニティ推進会	3人
豊浦学区まちづくり推進会	1人	諏訪学区コミュニティ推進会	1人
日高学区市民自治会	3人	大久保学区コミュニティ推進会	3人
田尻学区コミュニティ推進会	4人	河原子学区コミュニティ推進会	1人
滑川学区コミュニティ推進会	2人	塙山学区住みよいまちをつくる会	2人
宮田学区コミュニティ推進会	0人	大沼学区コミュニティ推進会	1人
中里学区コミュニティ推進会	0人	金沢学区コミュニティ推進会	5人
仲町学区コミュニティ推進会	0人	水木学区コミュニティ推進会	3人
中小路学区コミュニティ推進会	1人	大みか学区コミュニティ推進会	2人
助川学区コミュニティ推進会	3人	久慈学区コミュニティ推進会	3人
会瀬学区コミュニティ推進会	2人	坂下地区コミュニティ推進会	0人
成沢学区コミュニティ推進会	2人	わからない	0人

⑦ 日立市に住んでいる年数

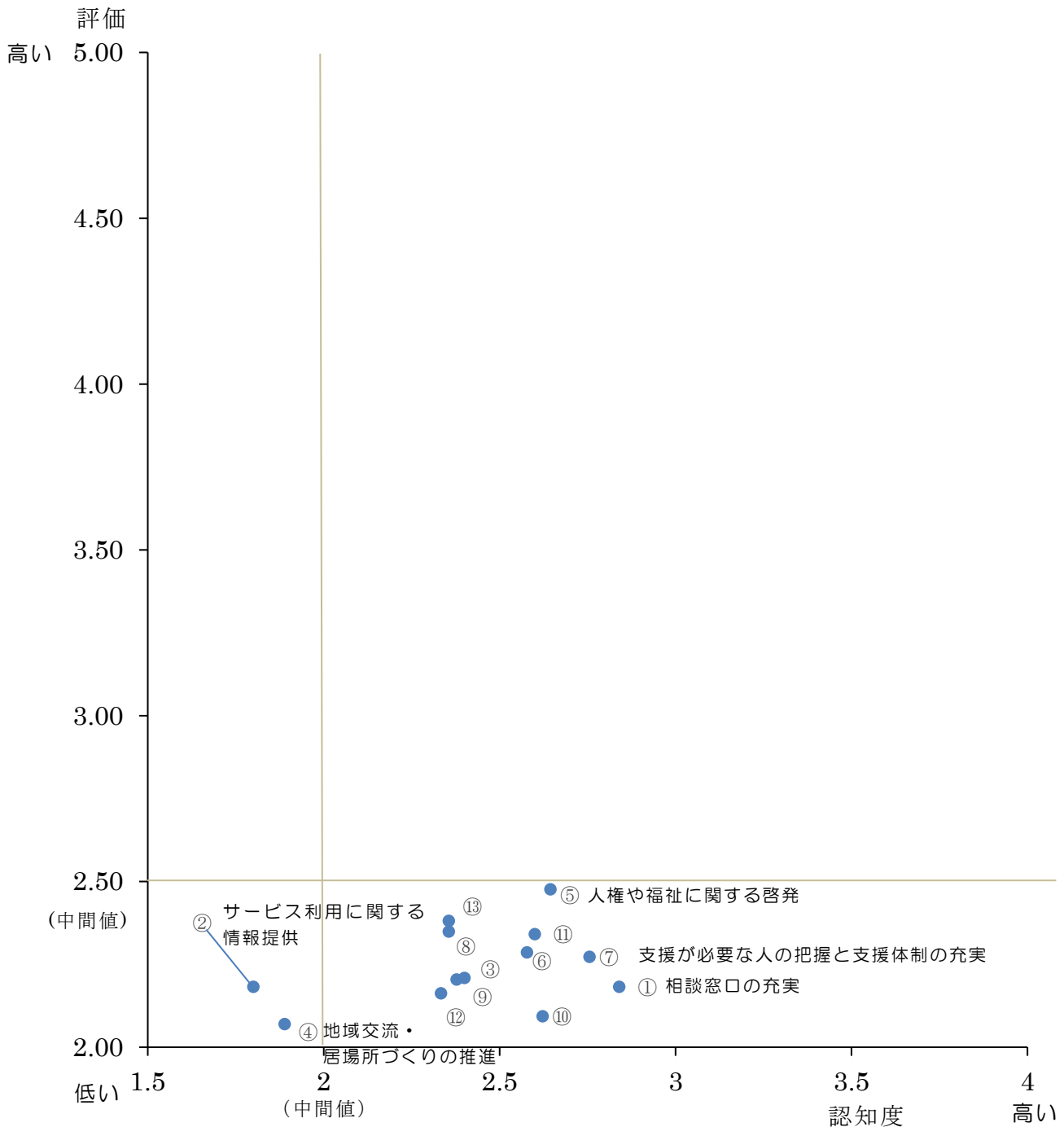
1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上
0人	0人	2人	1人	42人

2 施策の認知度・評価				
I 認知度の平均点は4段階評価による		II 評価の平均点は5段階評価による		
4点 知っている		5点 良い		
3点 少し知っている		4点 やや良い		
2点 あまり知らない		3点 ふつう		
1点 知らない		2点 やや悪い		
		1点 悪い		
(1) あんしんして暮らせるしくみづくり			平均点	
			I 認知度	II 評価
①	相談窓口の充実	生活困窮者の自立支援、ハローワークとの連携による就労相談等、地域福祉に関する相談ができます。 例：市・ハローワーク・市社協が連携し、相談者がワンストップで利用できるよう、社会福祉課内に「つなぐハローワークひたち」・「自立支援サポートセンター」を設置しました。	2.84	2.18
②	サービス利用に関する情報提供	市報、市社協だより、ケーブルテレビ、SNS等で、地域福祉に関する情報を発信しています。	1.80	2.18
③	災害時の協力体制の充実	避難行動要支援者名簿の管理、個別支援計画の充実等、災害時の地域との連携強化を図っています。 ※避難行動要支援者名簿：高齢者や障害のある方のうち、災害時に自ら避難することが困難で、何らかの手助けが必要な方の名簿です。	2.40	2.21
(2) 地域住民としての絆づくり			平均点	
			I 認知度	II 評価
④	地域交流・居場所づくりの推進	ふれあいサロン、子ども食堂支援、元気カフェ、おもちゃライブラリー等の、住民同士の交流促進に努めています。 例：ひとり暮らしの高齢者を対象に、交流の場をつくり、高齢者の孤立を防ぎます。	1.89	2.07
⑤	人権や福祉に関する啓発	全ての住民が福祉を学び、人権意識の向上を図れるよう、学校・地域・家庭での取組を進めます。 例：ふくし出前講座 ささまざまな団体等の希望に応じて、福祉体験(車イスやアイマスクを使用した体験等)の出前講座を行います。	2.64	2.48

(3) 自立した暮らしを支える環境づくり			平均点	
			I 認知度	II 評価
⑥	生活困窮者対策 ・セーフティ ネットの充実	<p>フードバンク、生活資金貸付等それらのサービスを必要とする方に活用してもらい、自立に向けた支援を行います。</p> <p>例：「きずな BOX」を設置し、市民や企業などからの寄附食品を、NPO 法人フードバンク茨城や、様々な理由で食の支援を必要にしている方へ、提供しています。</p>	2.58	2.29
⑦	支援が必要な人の把握と支援体制の充実	<p>地域住民と連携して、相談できない・どこに相談するか分からない方を、早期に発見し、必要な支援を行います。</p> <p>例：「日立市成年後見サポートセンター」を設置し、成年後見制度の相談及び申立ての支援を行うとともに、地域連携ネットワークを構築します。</p>	2.76	2.27

(4) 地域福祉を支えるしくみづくり			平均点	
			I 認知度	II 評価
⑧	小地域福祉活動を推進するための組織体制の強化・人材確保	<p>民生委員児童委員や生活支援コーディネーターを配置し、地域関係者、関係機関及び行政等が連携して生活支援の体制整備に努めています。</p> <p>例：市民を対象に各種講座を開催し、地域福祉活動やボランティア活動、地域での子育て支援への実践に向けた人材育成に努めています。</p>	2.36	2.35
⑨	要支援者を支える個別支援体制の強化	<p>高齢者が住み慣れた地域で安心して安全に暮らし続けることができるよう、地域住民による安否確認や日常生活における支援を行います。</p> <p>※支援を必要とする高齢者や障害者に対し、民生委員児童委員、地域包括センター及びコミュニティ関係者等が支援します。</p>	2.38	2.20
⑩	関係機関の連携による個別支援体制の強化	<p>地域における生活課題の解決に向け、コミュニティ単会・医療・介護・福祉等が連携して地域包括ケアを推進しています。</p> <p>※地域包括ケア：要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしく生活を最後まで続けることができる体制</p>	2.62	2.09
⑪	ボランティア・NPO活動に対する支援	<p>住民の日常生活全般を支えるため、ボランティア・市民活動団体及びNPO法人が実施する福祉活動を支援しています。</p> <p>例：ボランティア活動保険の加入支援や活動費の助成とあわせ、会議室の提供や機材等の貸出等を行っています。</p>	2.60	2.34
⑫	関係団体との連携	<p>日立市コミュニティ推進協議会・日立市連合民生委員児童委員協議会・日本赤十字社・茨城県共同募金会・日立市福祉団体連絡協議会等、様々な組織が連携し、地域の生活課題の解決に向けて取り組んでいます。</p>	2.33	2.16
⑬	日立市社会福祉協議会の基盤強化	<p>日立市社会福祉協議会は、経営組織の強化や法人としての透明性の確保に努めています。</p> <p>例：市社協の事業について市民に理解を深めてもらい、社協会費や募金への協力を努めています。</p>	2.36	2.38
平均			2.43	2.25

#### 4 認知度と評価の関係



##### 【凡例】

- |                       |                               |
|-----------------------|-------------------------------|
| ① 相談窓口の充実             | ② サービス利用に関する情報提供              |
| ③ 災害時の協力体制の充実         | ④ 地域交流・居場所づくりの推進              |
| ⑤ 人権や福祉に関する啓発         | ⑥ 生活困窮者対策・セーフティネットの充実         |
| ⑦ 支援が必要な人の把握と支援体制の充実  | ⑧ 小地域福祉活動を推進するための組織体制の強化・人材確保 |
| ⑨ 要支援者を支える個別支援体制の強化   | ⑩ 関係機関の連携による個別支援体制の強化         |
| ⑪ ボランティア・NPO 活動に対する支援 | ⑫ 関係団体との連携                    |
| ⑬ 生涯学習による福祉学習の充実      |                               |

## 5 自由意見の主なもの

### 福祉活動の情報提供

- 活動していることを普段市民に見える形にしてほしい。
- 活動がみえない。発信力不足かと思う。
- 地域福祉の活動内容を、より具体的に説明する必要がある。
- 高齢者の問題解決のフローを示すような、市民講座を開催して頂きたい。
- 市で説明会を開いて、学びの場を作ってほしい。
- 障がい者理解の向上に努めてほしい。

### 福祉の充実

- 市報では子供や若者に対して手厚いことが分かるが、お年寄りに対しても力を入れて欲しい。
- 定住者をもっと増やせば福祉の充実もあると思う。
- 地道な活動が市民サービスの充実につながると思う。

### その他

- ボランティアの民生児童委員に期待するのは、限界ではないか。
- 民生委員児童委員さんの姿は見ない。社協の活動実態、効果も見えない。
- 窓口一本に相談すると、その時の市の対面者が担当者となる。というようななんでも相談室の如くの仕組みが必要。
- 町内会に属していることで何か特典を得られる仕組みがあればと思う。
- 似たような取り組みが重複している場合があるが、どちらかも漏れると言う状況さえ産まなければ問題はないと思う。
- 高齢者の問題をよくご理解いただき、満足しています。